



学校図書館だより

9月号

令和4年9月
柏市立西原中学校
柏市学校図書館指導員
岡部 容子

二学期に入り体育祭も終わりました。まだ暑い日もありますが、「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言います。秋は読書の秋・スポーツの秋・食欲の秋、たくさんの楽しいことができる季節です。3年生は受験勉強にも大切な時期ですね。読む力は受験にも大切な力になりますので時間を見つけて読書をしましょう。二学期も授業や読書に必要な本を集めてお待ちしております。

防災の日 9月1日

防災意識を高めるためにもうけられた日で、9月1日。地震や台風などの災害について知り、これに対する心がまえを育てることを目的として、1960（昭和35）年に定められた。9月1日は、1923（大正12）年に関東大震災が発生した日であり、また、暦の上では台風の多い厄日とされる二百十日にあたることから、この日がえらばれた。

『防災の日(ほうさいのひ)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より, (2022-08-03 閲覧)

《 災害に備えて命を守ろう! 》

☆天気予報を調べてみよう

☆避難指示に従おう

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過・停滞することで作り出される雨域。

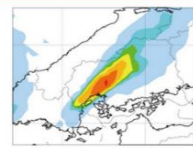


線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけとは

線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的として線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行います。

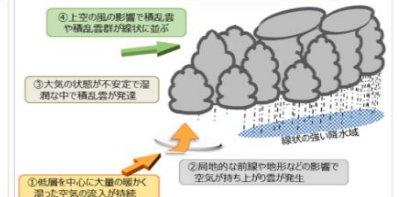
出典：気象庁 <https://www.jma.go.jp/>

線状降水帯の例（平成26年8月の台風による大雨）



気象庁の解析雨量から作成した、平成26年8月20日4時の前3時間積算降水量の分布

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



①上空の強い影響で積乱雲や積乱雲群が線状に並ぶ

②大気の状態が不安定で遅延中で積乱雲が発達

③乱流を中心に大量の雨が降った空気の流入が持続

④局地的な前線や地形などの影響で空気が持ち上がり雲が発生

今月のおすすめ本

～災害に備えて～

『目で見えるSDGs時代の異常気象のしくみ』

ジュディス・ラルストン（著）

フレイザー・ラルストン（著） 片神貴子（訳）

さ・え・ら書房 <451>

この本は、天気とはどういうもので、異常気象はなぜ起こるのか、地球温暖化の影響はあるのか、そして、わたしたちのくらしとどんな関係があるのかを、わかりやすく説明しています。理由を知っていれば、判断するための助けになり、目的があれば、やりとげるための力になります。天気のしくみを知り、地球温暖化をおさえるために、異常気象を減らすために、なにができるのか考えてみましょう。そして、自分のできることから始めてみませんか？

出典：ライブラリーサーチ

『わかる!取り組む!災害と防災』 全5巻

帝国書院編集部（編） 帝国書院 <369>

○基礎…災害のしくみがわかる！

○事例…最新の災害事例も多数！

○対策…防災・減災に一人ひとりが取り組む！

災害に対してどのような取り組みが行われているのか？ 私たち一人ひとりが取り組むべきこととは？防災・減災の取り組みについて各巻3～4テーマで詳しく解説。さらに、これからの防災に生かせるような先人の知恵や工夫も紹介。

出典：帝国書院 <https://www.teikokushoin.co.jp/>

学校図書館からのお知らせ！

新着本展示会9月28日～30日

10月3日から貸出します。（一人1冊）



二学期は心を整えて学習、
スポーツに取り組みましょう。



『13歳のキミへ
中学生生活に自信がつくヒント35』

高濱正伸 著 実務教育出版 <159>

どうする？勉強、友だち、将来の夢・・・みんなの不安・
悩みに答える伝説の講義が初めて本に。

「親をいたわれ」「気づかう側に立つ」「おいしかったら
『おいしい』と言おう」「友人は大切に」「あいさつが道を
ひらく」その他、読んでみたい項目が沢山あり、分かっても
確認のために読んでみると良いと思います。

出典：ライブラリーサーチ



『人生はワンチャンス！』

水野敬也・長沼直樹 著 文響社 <159>

犬の表情をモチーフに「偉人のエピソード」と「偉人の名
言」から心のあり方が書かれています。

『思い出し笑える人生を』では、長州藩士の高杉晋作の
最後の言葉「おもしろきこともなき世をおもしろく・・・」
を借り、「人生を楽しくしようと行動すること、そして今を
楽しいと感じること。人生を楽しむための欠かせない両輪で
す。」と悩みを解決するためのヒントを与えています。



『地球の未来を考える』

気温が1度上がると、どうなるの？

—気候変動のしくみ—

文 K・S・シュライバー 絵 S・マリアン

訳 松永美穂 西村書店 <451>

これまでの150年で、すでに地球の気温は平均で1度上が
りました。気温が1度上がると、何が起こるのでしょうか？

前半では、地球上の気候や「温室効果」のしくみ、
また、これまでにどんな気候変動があったかなどを説明しま
す。

そして後半では、わたしたち人間の進歩の過程で産業革命
がおり、農業や工業が急速に発展したことや、
食生活や移動手段が大きく変化したことなどにより、
自然環境にどのような影響が出ているのかを幅広くとらえ、
豊富なイラストとともにわかりやすく解説します。

出典：西村書店 <http://www.nishimurashoten.co.jp/>



『防災イツモマニュアル』

防災イツモプロジェクト（編） 寄藤文平（絵）

NPO法人プラスアーツ（監修）ポプラ社 <369>

「イツモの暮らし」が「備え」になる。今こそ、在宅避難
の準備をしませんか。日本で暮らすということは、災害と一
緒に生きていくということ。まず、ひとつだけでも、始めて
みよう。「イツモ」できることが詰まった本当に役立つ防災
マニュアル。

出典：ポプラ社 <https://www.poplar.co.jp/>

『せまりくる「天災」とどう向きあうか』

鎌田浩毅（監修・著） ミネルヴァ書房 <450>

火山噴火、地震、台風・・・。せまりくる天災に我々
はどう備えていけばよいのか。地球のしくみや災害の発生す
るメカニズムをわかりやすくオールカラーで図解。また、防
災への備えを家庭、職場、学校などのケース別に、着実に実
行する具体的方法を解説。

出典：ミネルヴァ書房 <https://www.minervashobo.co.jp/>

『SDGsのきほん 未来のための17の目標
気候変動 目標13』

著/稲葉茂勝 監修/渡邊優 ポプラ社<333>

全世界が2030年までに達成すべき17の目標SDGs。本書
では、目標13「気候変動について具体的な対策を」の内容や、
地球温暖化の原因や対策など、必要な基礎知識を得ることがで
きます。

出典：ポプラ社 <https://www.poplar.co.jp/>